

いわさき 岩崎 ゆみ



未来を見据えた政策提案を
ずっと光り輝く八丈島へ

八丈島の素晴らしさは？ といったらどのようなことが思い浮かびますか？ 人の温かさ、美しい自然、八丈太鼓や黄八丈、食などの文化、これまで脈々と紡がれてきた歴史、それらを礎とした個性豊かな産業：いずれもこの島の「光」です。

物価高騰対策をはじめ、医療・福祉の充実、教育施設の整備、大規模化する気象災害への備えなど、課題は山積しています。特に人口減少は避けられないのが現状で、それに適応できるように、八丈島ならではの「光」資源を有効に活用し、未来へ持続できる島づくりをめざします。

これまでに提案してきたことがいくつかの政策に結びつきました。政治家は実績を語りがちですが、それは関係各所の協働の成果です。チーム八丈町議会をさらに活性化させ、行政と共に持続可能な島となるよう取り組んでまいります。

来春で移住30年目を迎えます。その間、皆様に支えられ4期16年、町議を務めさせて頂きました。次期は若い世代へのバトンタッチにも力を注いでいきたいと考えています。変わらぬご支援を、どうかよろしくお願いいたします。

重点的な取り組み

- 自然環境、歴史・文化、景観の保全・創造・活用
- 食とエネルギーの自給率向上
- 八丈島を活かした教育の推進
- 気象変動への対応
- 住民懇談の定期的な開催
- 議会BCPの立案

※ 議会BCP 大規模災害など非常時でも議会の機能を維持させる仕組み

プロフィール

1960年埼玉県大宮市（現さいたま市）生まれ。筑波大学第2学群生物学類卒業。1997年八丈島に移住。八丈ビジュアルセンター勤務を経て2000年にProject WAVEを設立し、島の自然を案内するネイチャーガイドとして活動。現在は特に八丈小島の保全と活用をテーマとしている。

沖山 恵子



人口が減るのは、全国的な流れですが、魅力的な人と制度のある地域はともて元氣です。種を蒔き人を育て、10年後、20年後、人が少なくても元氣な八丈島を継続したい。

私が町議になって
実現したい
3つの目標です！

◎ 心と体が喜ぶ食の充実

電気代やガソリン代を気にして食費を削る日々、年々暮らしが苦しくなるのを実感します。追い打ちをかける物価高で以前のように、食べたい物を買えなくなりました。心と体が喜ぶ食事は、人が生きていくための基本ですが、残念な事に毎日の食卓が貧しくなっています。こんな時代に町は何ができるのでしょうか。自衛のため自分で作るを応援、誰でも借りられるミニ農園や給食用の野菜づくりに生かすシステムを作りたい。

◎ 安心して年がとれる福祉

私は島の福祉サービスを総動員し、皆さんの力も借りながら、祖母・両親を在宅で看取りました。しかし今は、スタッフの高齢化や深刻な人手不足で、以前のようにお願いしにくくなっています。最も人口が多い団塊の世代がいよいよ後期高齢者となりましたが、支え切れるか心配です。福祉サービスは人材が命です。育成の方法を変えスタッフの増員を図り、島で最後まで暮らしたい人に、寄り添い支える福祉を実現したい。

◎ 島の伝統産業を守り育てる

あしたば、ロベ、くさや、焼酎、花卉園芸、黄八丈。八丈島には宝物が数多くありますが、十分に生かし切れてはいません。いずれも生産現場は後継者に悩み、生産量が確保できず小規模で収入も安定していません。一方で、こうした八丈の伝統的な産業や技術に魅力を感じて、島に移住する人は少なくありません。若い世代や移住者の、やりたいを応援し、生産団体をけん引し大規模で全国に販売できる八丈島を作りたい。

食が美味しく、毎日が楽しく・豊かで、安心して生活できた
ちょっと前の八丈島の暮らしを取り戻したい。
ぜひもう一度、沖山恵子にお力をおかしてください！

沖山 恵子の プロフィール

昭和37年寅年生まれ・64歳・独身。人の役に立ちつつ生活も安定する公務員（農業改良普及員）を目指しましたが採用ならず。楽しい！に進路変更。ディズニーやイベント会社で接客や心の栄養「楽しいってとっても大事」を学び帰島。社会福祉協議会で20年勤務し福祉を学び、政治の世界で人の役に立ちたいと、町議会議員を2期8年務めました。祖父は末吉村村長、母は八丈初の女性町議会議員でした。人生の最後を島の発展に捧げる覚悟です。ご支援をよろしくお願い致します。

投票日: 10月18日（日） 一票を大切に 八丈の明日を築こう

私の行動3か条



人に会う。

対話を大切にします。



現場に行く。

自分の目で見て、感じて、考えます。



すぐやる。

スピード感を持って、実行します。

八丈島の未来のために、
現場第一で、
すぐに動きます！

小さな島だからこそ、できることがあります。みなさんと一緒に、八丈島の明るい未来をつくります！

すぐやる行政改革

- 役場職員の副業・兼業を原則可能に
職員の能力・経験を地域でも活かし、島の人手不足に対応します。
- 役場業務へのAI活用を推進
文書作成・議事録・情報整理などを効率化し、職員が町民対応や現場に使える時間を増やします。

暮らしと防災

- 2Lミネラルウォーターの海上運賃100%補助
水の備蓄をしやすくし、災害時にも強い島へ。
- 伐採木・剪定枝の処分・資源化拠点を整備
日常の伐採木処理に加え、台風などで発生する大量の倒木にも対応します。

教育と文化

- 八丈太鼓の皮の張り替え費用を補助
八丈太鼓の伝統文化を守り、次世代へつなぎます。
- 教育バウチャー制度の導入
塾・オンライン学習・検定・教材など子どもたちの学びの選択肢を広げます。

使いやすい公共施設

- 公共施設の会議室・集会室・待合スペースに無料Wi-Fiを整備
ネットへのアクセスをより便利・快適にします。
- おじゃれホールにネット配信に対応できる設備を整備
イベントのオンライン配信を可能にし、島の文化や活動を島外へ発信します。

プロフィール

- 昭和46年生まれ(55歳)
- 榎立小学校 卒
- 三原中学校 卒
- 八丈高校 卒
- 早稲田大学商学部 卒

海運会社、webサイト制作会社勤務を経て帰島。以降、富次郎商店で勤務。

事業者目線で、暮らしに密着。
これまでの経験を、町政に活かします。

無所属
いせざき唯^{ゆい}



私たちも推薦します

- 山口 那津男（元公明党代表）
竹谷とし子（参議院議員）
川村雄大（参議院議員）
松葉 多美子（東京都議会議員）
伊藤 興一（東京都議会議員）
- ◆プロフィール
- 昭和30年2月24日生まれ（71歳）
 - 八丈町議2期
 - 都立城南高校卒業後、日本タイピスト女学校を卒業
 - 昭和48年12月ジャパンライン株式会社入社
 - 八丈島食品衛生協会理事
 - NPO法人ちょんこめ会理事

公明党は、これまでに都・国との党ネットワークで実現しました！

- 白内障手術が島内で可能に
 - 島外医療機関への航空運賃の年二回助成を実現
 - 火葬場の建設を実現
 - 八丈町の奨学金制度を充実
 - ドクターヘリの搬送時間を大幅に短縮
- 山下のりこの主な実績**
- ◇ 島外の学生も、親・兄弟の介護のために八丈島に通うひとにも、アイキップの利用を可能に
 - ◇ ガン患者のウィッグと補正具購入に補助金を適用
 - ◇ 防災備蓄品に液体ミルクを追加
 - ◇ 温泉のトイレに温水洗浄暖房便座を設置

"赤ちゃんからお年寄りまで、皆が笑顔で暮らせる島づくりのために、公明党の都・国との太いネットワークを生かし、皆様からの声に耳を傾け、ひとつひとつ全力で取り組んでまいりますので、絶大なご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。"

笑顔あふれる八丈島に！ 山下のりこ4つの重点政策

- 誰もが安心して暮らせる島へ
 - ・ 移動をもっとやさしく
 - ・ 最後まで住み続けられる島へ
 - ・ 女性の健康を守る
- 魅力を活かした活力ある島へ
 - ・ 島を体験する観光へ
 - ・ 島の宝物で産業を元気に
- 子どもたちの未来を育む島へ
 - ・ 学校設備をもっと充実
 - ・ 教育負担を軽く
- 災害に強く持続可能な島へ
 - ・ 避難所をもっと安心に
 - ・ クリーンエネルギーの活用

公明党公認

山下のりこ



投票日: 10月18日（日） 一票を大切に 八丈の明日を築こう

（この選挙公報は、八丈町選挙公報発行条例第4条第1項の規定により、候補者から提出された原稿を掲載したものです）

つながると、動き出す。

中学校卒業までの15年間は八丈島で過ごし、高校進学から30年以上にわたり、島外で学び、働いた後、故郷に戻ってきました。帰島後、学童で勤務するうちに、島の子どもたちや家庭が抱える課題が見えてきたため、寺子屋で勉強面の、フラッグフットボールで運動面の支援をしています。

さらに複雑な困りごとについては、内地で得た経験と人脈を活かし、島外の福祉・医療サービスや専門家に協力を仰いでいます。

また、人口減少を前提として、学校や学童、公共施設、地域活動を見直し、必要に応じて縮減すること。そして、島内の各関係機関が協力できる仕組みづくりと、その後押しが必要だと考えています。

島での暮らしを知り、島外での体験・体感を持つ立場から、これからも現場で活動し、子どもたちや保護者の声を聞きながら、人と人、行政と現場、島の内と外をつないでいきたいと考えています。

大切にすること

- ☑ 一人ひとりの「やってみたい!」が動き出せる環境
- ☑ 楽しく、楽に、気分よく
- ☑ 興味・関心・好奇心を最優先
- ☑ 教育×福祉×医療×行政×地域のチームプレー
- ☑ 人口減少を前提に、無理なく続けられる地域の仕組みづくり

人・場所・アイデアが
つながり、動き出す八丈島へ。

【プロフィール】

●昭和52年 八丈島生まれ。
三根小学校、富士中学校卒業
都立戸山高校、早稲田大学社会科学部卒業

【経歴】

- 新卒から教育業界で約25年。
大学受験英語塾の講師・校舎長や進学コンサルタントとして、中学・高校・大学受験から留学、就職活動まで幅広く対応。不登校や発達・学習面に困難を抱える家庭には、福祉・医療面から携わる。
- 著書2冊、新聞連載、テレビ出演など、教育分野でのメディア露出多数。
- 帰島後は、学童勤務のほか、寺子屋とフラッグフットボール教室を運営。

無所属

沖山けんぞう



山下たくみ



山下 巧たくみ プロフィール

◎プロフィール
三根小、富士中、帝京高校（工業科）、帝京大学法学部（柔道部副将）卒。織物産地で修行、黄八丈工場設立、東京都伝統工芸士認定、黄八丈織物協同組合、染織講師、特産品黄八丈サブレ菓子工場設立

◎経歴・役職
中央区柔道会、東京島しょ柔道連盟会長、八丈島柔道会会長、八丈島文化協会副会長、八丈混声合唱団団長、八丈島食品衛生協会役員、観光協会副会長、町消防団員

◎町議会での所属
経済企業委員、八丈町会計監査委員、議会運営委員、総合開発審議会委員、消防委員、牧野連合審議会委員、表彰審査委員

◎職業
（株）八丈民芸商事代表取締役（八丈民芸やました倉の坂本店、八丈島空港ビル内空港店やました、黄八丈染織ツアー教室、黄八丈サブレパンビ工場・旅館やましたのおやど・別館 B&Bambi）

観光を基軸とした島の活性化に取り組みます。

生れ育った八丈島を守りたい。八丈島が安全で若者たちが生きがいと誇りを持つて住める島を目指します。

八丈島は漁業・農業・園芸・観光・伝統産業の恩恵を受け、関連する地場産業は多くの雇用を創出し、島民は夢と希望に満ち溢れていました。しかしながら、昨今の頻発する自然災害や厳しい国内経済環境、紛争をともしなう国際情勢などがこの島の経済にも影響し、島民生活をはじめ、将来的な医療・福祉の継続にも不安を感じる日々です。

大切なのは将来を見据え、時代に沿った産業を育てる施策の実行。稼げる島になれば、若者たちも帰ってきたくなります。今こそピンチをチャンスに変え、コンパクト・シティを目指す時です。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

投票日: 10月18日（日） 一票を大切に 八丈の明日を築こう

（この選挙公報は、八丈町選挙公報発行条例第4条第1項の規定により、候補者から提出された原稿を掲載したものです）

プロフィール

1954年八丈島生れ

町立三根小学校卒業

町立富士中学校卒業

都立八丈高等学校普通科卒業

日本電子専門学校電子工学科卒業

元七島信用組合勤務

八丈島の他に新島・大島で勤務

元八丈島観光協会事務局長

元JA東京中央会勤務

元民生委員児童委員

元三根サッカークラブ指導者

フルマラソン7回完走

10年掛けて箱根駅伝の全区間走破

元気で活気ある島に！ ストップ人口減少！

【私の主張】
島の未来への鍵は
人口減少対策
飛行機の便数、町立病
院、学校、農業、漁業、
観光、商工業などの維
持。
可能性を活かせ
都内へのアクセスの良
さと安い地価を活かし
た企業誘致。
豊かな自然や歴史など、
島の魅力を活かした移
住定住策推進。
やればできる
予算が無いと諦めない。
やる気と出来る工夫を。
助け合う情島へ
お互いの助け合いが必
要。共助の強化。

無所属 金川たかゆき



のりはるさんを推薦します

三宅 正彦 都議会議員
石原 宏高 元環境大臣（衆議院）
朝日 健太郎 国土交通副大臣（参議院）
生稲 晃子 外務大臣政務官（参議院）

昨年の台風時の対応

昨年10月の台風（22号・23号）の翌日、国会議員・都議会議員の先生に電話連絡にて来島（二日後の十四日）して頂き、大小の被害を受けた災害現場を視察しながら、国には早期の激甚災害指定と支援（総合交付金の早期交付と災害支援金等）を、都にも自衛隊の災害派遣の要請と都の早期の支援（災害支援金と都職員の出発、防災無線用の乾電池の確保等）をお願いしたところ早期の行動から八丈島の復興に寄与して頂き、現在も国と東京都の先生方と密な連絡を取り合う事が出来る唯一の議員として島の早期復興に向け奮闘しております。引き続き町民の皆様方のご支援をお願いいたします。

主な職歴

◎自由民主党八丈島総支部長 ◎東京島嶼議会議員研究会
（三宅会）筆頭理事 ◎東京諸島議会議員連絡協議会 幹事長
◎八丈町議会 副議長 ◎八丈町体育協会 会長

●町議会議員数の削減と給与の引き上げ
町の人口数の減少に歯止めは効かず、人口に比例した町議会議員数にすべきと考え、今後無投票を避けるためにも議員数の削減と、若い人達が選挙に出て議員になっても議員活動に専念出来るよう給与の引き上げが必要と考える。

●空港滑走路の延長と拡幅工事を
飛行機の就航率を上げるために滑走路の延長と拡幅工事を行うことで、横風に弱い飛行機の就航率を上げ、大型機の就航も考え観光客数の増加が島の観光業に大きく寄与し、町民の利便性も向上する。将来的な国際空港化に備えたい。

●屋内練習場の建設
島外スポーツチーム等の合宿を誘致するにあたり、雨天対応の施設が無いという致命的欠陥がありながら、合宿誘致を呼びかけるのはいかなものか。観光誘致・島内高齢者の健康増進・各種イベントの雨天時の代替施設として広範囲な活用が見込まれる。

●特別養護老人ホームと軽費老人ホームの建設
高齢化の進む特別養護老人ホームの建て替えの必要性が高まっている。また要介護度の低い方向けの軽費老人ホームの建設需要も高まっている。要介護度が低い施設に入れず、島を出たくないのに島を離れる方が増加しており、生まれ育った島で亡くなりたいと言って島を出た方の声が残っており、そんな方々のためにも施設の建設を進めたい。イターン・Uターン者や、移住者の雇用確保に、国や都、民間企業の施設誘致を推進し、助成金や補助金の増収を図りたい。

島の今と未来を考え、 国と都へ行動する

齢を取っても安心して暮らせる町づくりを目指し、島の経済と人口の減少、少子高齢化に手を打たなければ島の未来は開けません。安心・安全な町づくり、豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐために、島の今と未来を考えて国と都へ行動する事が私の使命と考え四期目を目指し立候補いたします。

あさぬま 浅沼のりはる

自由民主党公認



投票日: 10月18日（日） 一票を大切に 八丈の明日を築こう

（この選挙公報は、八丈町選挙公報発行条例第4条第1項の規定により、候補者から提出された原稿を掲載したものです）

創ろう！八丈島の未来を

沖山のぼるプロフィール

- ◎ 昭和 36 年（1961 年）八丈町三根に生まれる。現在 65 歳。
- ◎ 八丈町立三根小学校、八丈町立富士中学校、都立八丈高等学校を経て、日本工学院専門学校を昭和 57 年 3 月卒業。
- ◎ 昭和 57 年 4 月電気店に就職、7 年 1 か月勤務。
- ◎ 平成元年 5 月八丈町役場へ入庁。企業課長、産業観光課長を歴任。30 年 11 か月勤め、令和 2 年 3 月退庁。
- ◎ 令和 2 年 4 月～令和 4 年 9 月、八丈町社会福祉協議会勤務。
- ◎ 令和 4 年 1 0 月、町議会議員初当選（総務文教委員会副委員長、議会改革特別委員会副委員長）。
- ◎ 趣味；スポーツ観戦。

◎ 空き家問題

調査結果を基に解決の取り組みを

◎ 小・中学生スポーツの支援

子どもスポーツの支援体制構築

◎ 一次産業の強化

八丈島だから、農業、漁業の支援強化

◎ 移住定住推進

家族で住み続けたい八丈島に

◎ 高齢者と障がい者の福祉

誰もが一緒に楽しめる居場所づくり

無所属

おきやま
沖山のぼる



災害に負けない島。 命と暮らしを真ん中に。

浅沼きよたか



昨年、八丈島は大きな台風災害に見舞われました。あれから1年、まだ島内にはブルーシートで覆われた建物が見られ、暮らしに不安を感じている島民も少なくありません。国内、そして世界の至る所で想定を超える気象、地震、津波、噴火災害が頻発する現在、どこに暮らしていても安全とは言えません。

昨年の台風災害の経験・教訓を生かして、今後は人的被害を最小限に抑える避難対策、発災後の迅速なインフラ復旧計画、長期的視点に立った被害者の生活再建・事業者の経済復興支援策など、多岐にわたる備えと対策が必要です。災害からは逃れられないので、災害に立ち向かう覚悟で強い島づくりが求められます。確かな備えと対策があれば、減災は可能で、島は必ず立ち直っていくと思います。

もう一期、町議会議員として災害に負けない島づくりのために働かせてください。島民のみなさまのご支援をお願い致します。

力を入れたいこと

☆ 地元の魚、野菜の流通拡大

持続可能な農業・漁業経営への支援

☆ 伐採木、生ゴミなどの資源化

捨てるより利用する方策を

☆ 船便の就航率向上と運賃軽減

安定就航を確保するための港湾整備

町議会議員候補

浅沼清孝略歴

74歳

三根在住（末吉出身）
大工・工務店経営

元八丈町消防団副団長

現町議会議員（1期目）

投票日: 10月18日（日） 一票を大切に 八丈の明日を築こう

美しい八丈島の未来の子どもたちのため、今こそ「人口増加政策」の推進を！

◆島の人口激減に対する対策は急務です！

現在の八丈町における人口減少は誠に顕著なものとあります。今年4月からは町立病院での出産も不可能となり、このままでは若年女性人口が減り続け、2024年に「自立持続可能自治体」とされていたわが町がそこから転落してしまう可能性が出てきました。これでは他の過疎地域のように、地域の小・中学校や保育所、郵便局、駐在所、各商店などが、人口が激減することにより消滅し、行政及び交通サービスの危機的低下、それに伴う物価の上昇や、町民の経済的収入減を招くことになってしまうでしょう。

◆他自治体の成功事例の実践を！

そのような事態を防ぐため、他の自治体の成功事例を見習い「地元で取れた自然な産品を地元で安く消費できる自給自足体制」を確立させることが防災対策としても急務と考えました。無肥料・無農薬でも可能な「炭素循環農法(菌ちゃん農法)」により口ベ等の耕作放棄地を「八丈ブランド野菜」生産に転換、さらに農家の安定収入につながるCSA(地域支援型農業)の導入など、低コストでできる人口増加政策を早期実現させることが不可欠です。これらにより、都会からのI・Uターンの子育てファミリーの新規就農が可能になり、空き家の解消、また観光事業としての「農泊」「農園オーナー制度」等で関係人口の増加を図ることができます。

◆「災害に強い島」「発酵の島」としての「八丈プライド」の確立

さらに台風被害の経験を活かし「災害に強い島」として防災BCP(事業継続計画)も策定しつつ、昔ながらの「発酵の島」としてさらにローコストで可能な「家庭ごみ堆肥リサイクル事業」なども推進することにより「自然との豊かな共生ができる離島生活ロールモデル」を確立させます。それにより住民皆様の「八丈プライド」も高められ、移住を考えている方々へのさらなるアピールにもつながるでしょう。

◆1人1人がかけがえのない「島の宝」です！

また公務員を含め島内で働き、そして島で生活する方々の「働き方改革」の推進をより図り、島内で安心安全に、お互いを思いやり尊重できるよう、長期にわたり安定して住むことができる地域づくり、居住空間づくりを目指します。

◆高齢者、障がい者福祉事業の充実も図ります！

佐々木丈は八丈島を「豊かな自然と共に一生幸せに暮らせる島にする」という目標を掲げています。赤ちゃんからシニア世代に至るまで、様々な分野において福祉を充実させ、皆様に安心を届けられる町政を目指します！



【プロフィール】

- ・1968年、「小江戸蔵づくりの町」埼玉県川越市生まれ。
- ・会社員を経て、2005年よりカウンセラーとして開業、全国各地にて人生相談・不登校支援等を行う。
- ・2010年、婚姻により八丈島に約5年間移住後、仕事・学業で島内外を行き来しつつ研鑽を積む。
- ・慶應義塾大学通信教育課程文学部にて文学、哲学、歴史学ほか社会科学的研究手法を学び、2021年に卒業。さらに地方政治の現状を把握するため再入学、同法学部(政治学専攻)在学中。
- ・英検準一級、中国語検定(HSK)中級、第二種電気工事士、古民家鑑定士、潜水士、合気道一級(合気会)等取得。
- ・会社員時代は要人身辺警護・警備なども経験(トム・クルーズ、ダライ・ラマ法王等)。
- ・現在、島内において要介護の親をケアしつつ、炭素循環農法(菌ちゃん農法など)や、古民家再生等による人口増加・活性化を日々坂上、坂下を巡回しつつ研究・実践中。

佐々木 丈 ささき たけし
57 歳



誇りを持って暮らし続けられる島であるために

現場を歩き、教えを聴き、町政に届ける！

プロフィール

実家は底土で、大里に在住。25歳で起業し、三宅島・伊豆大島・新島で、宿、飲食、ガイド、シェアハウス、メディアなどの事業を運営。昨年の台風災害を機に八丈島へUターン。防災士。

重点的に考えたい項目

- ・人口急減への“緩和”と“適応”
- ・医療/福祉/教育の維持充実
- ・R7年台風災害の経験を次へ



伊藤の背景や考えなどの詳細はHPにございます。左のQRコードを読み込んでください。

対話と実行で身近な町政へ！3つの行動のお約束。

1.わかりやすい情報共有 町の財政共有会

年に2回、町の財政を分かりやすく共有する会を開催します。議論の前提となる「八丈町の現在地」を行政・議会・島民が同じ目線で共有し、建設的な対話を進める土台をつくります。

2.外の知恵を島へ還元 視察報告会

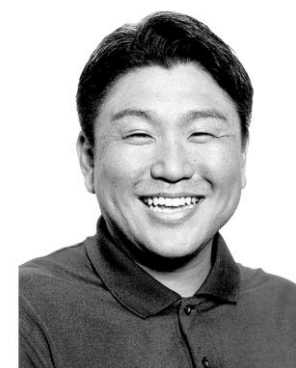
議員の視察を報告書だけで終わらせず、島民へ共有する報告会を開催します。公費で得た知恵や先進事例を「八丈島でどう活かせるか」皆さんのご意見を伺いながら一緒に考えます。

3.暮らしの声を届ける 座談会と請願

3ヶ月に1回、地区の現場を歩かせていただいた上で、魅力や困りごとをお互いに共有する座談会を開催します。傾聴で終わらせず「請願」という形で町政へ届ける道筋もつくります。

たけし
伊藤 丈 たけし
35歳
八丈高校出身

伊藤 しょう いとう しょう
無所属



投票日: 10月18日(日) 一票を大切に 八丈の明日を築こう

(この選挙公報は、八丈町選挙公報発行条例第4条第1項の規定により、候補者から提出された原稿を掲載したものです)



八丈島の「希望の光」になる

「継承」と「開拓」
島の誇りを受け継ぎ
未来をひらく。

「継承」
八丈島で生まれ育ったことは、私の一番の誇りです。
島の宝である子ども達が「島で暮らして良かった」と誇れるように。
先輩方から受け取ったバトンを、次の世代へしっかりと繋いでいきます。

「開拓」
人口減少や災害等、変化の時代を、どう生き抜くか。
離島は、日本や世界が抱える、課題の縮図です。
八丈島は
「未来の道標」
になれると信じています。
八丈島が最先端となり、社会に、より良い影響を与えていく島を目指します。

八丈に必要なのは、皆で同じ方向を向き、未来を拓いていくことだと考えます。
私はその旗振役を担います。
みんなで明るい希望を持って歩んでいけるよう、
八丈島の
「希望の光」
になります。

あさぬま あおみ
浅沼碧海



都民ファーストの会公認
まえさき
前崎たかし



子育て世代を支え、
観光で島の未来をつくる。

八丈島に移住して二〇年。
島で通販売業を起業し、現在は小売業の代表取締役として務めてきました。
昨年の台風被害を経験し、誰かがやってくれるのを待つのではなく、直接、町政の中に入り、課題を解決していきたい。
その決意を胸に、町議会議員選挙への立候補いたしました。

●子どもを育てたいと思える八丈島へ

・ベビーシッター利用への支援
・時預かり・ファミリーサポートの充実
・子育て家庭の「困った」に寄り添う仕組みづくり
・仕事と子育てを両立できる環境づくり

●観光振興

・八丈島ならではの観光商品の開発
・農業・水産業・飲食・宿泊との連携
・島の特産品・加工品のブランド化
・長く滞在したくなる観光づくり
・島内でお金が循環する仕組みづくり

●八丈島から脱炭素社会を目指す

・地域資源、木質バイオマスの燃料化
・再生可能エネルギー、バイオマスボイラーの普及
・農業、漁業分野への安価でクリーンな熱供給
・原油削減で生じる、カーボンクレジット認証で新たな財源確保

観光を、島の仕事と所得につなげる。
そして最後に、
子育て世代が安心して暮らせる島。
観光で新しい仕事が生まれる島。
そんな八丈島の未来を、
皆さんと一緒につくります。



私も応援しています
さい 百合子

投票日: 10月18日(日) 一票を大切に 八丈の明日を築こう

(この選挙公報は、八丈町選挙公報発行条例第4条第1項の規定により、候補者から提出された原稿を掲載したものです)

〈プロフィール〉

- 1950年 八丈島 末吉 生まれ
- 末吉小、中、八高、青学大 卒業
東京都の区市町立小学校に33年間勤務（教員、管理職）
- 八丈町では、三根小、末小（教員）、
中小、三原小（校長）に勤務
（コロンビア日本人学校に3年間派遣）
- 前八丈町教育長
（4期 13年間 勤務）
- ※ 現在は、八丈町シルバー人材センターの会員として、温泉清掃事業に従事

自助・共助・公助により安心安全で 心穏やかにすごせる八丈町に

- 将来への人材育成を
 - ・ 子育て世代支援
 - ・ 教育環境を整備し、時代に
対応できる教育支援
 - ・ 給食センターの早期建替
 - ・ 児童館の検討
- 心穏やかにすごせる町に
 - ・ 災害復興計画の推進
 - ・ 安心安全な町づくり
 - ・ 健康長寿の町を目指し、
フレイル予防
 - ・ 介護者支援と
ショートステイの充実
 - ・ 公営墓地の検討
- 役場職員の定数確保を
 - ・ 行政サービスを安定して
進める職員定数完備
 - ・ 職員用住宅を建設し、
勤務年数の安定化

佐藤 誠
さとう まこと



投票日10月18日（日） 午前7時から午後6時まで

投票所は、ご自宅に届く 投票所入場券ハガキを、ご確認ください。

※投票所入場券ハガキを無くした場合でも、選挙人名簿に登録されていることが確認できれば投票できます。
投票所の係員におたずねください。

投票日: 10月18日（日） 一票を大切に 八丈の明日を築こう